

平成26年度 同好会事業報告

理科同好会 世話係名 奥 幸雄 会長名 北澤 佳一

| 月 日 | 実施した事業内容 | 参加人員 |
|-------|--------------------------|------|
| 8月4日 | 夏期講習会（上級CST養成プログラム） | 5人 |
| 8月5日 | 夏期講習会（モデルロケット第4級従事者養成講習） | 7人 |
| 8月11日 | 上級CSTによるサイエンス・ミーティング | 5人 |

理科同好会は、五月二日（金）に会員二十五名で発足しました。

今年度の夏期講習会は、「上級コア・サイエンス・ティーチャー養成プログラム」と「モデルロケット第4級従事者養成講習」の二本立てで、開催することができました。

八月四日（月）に、信州大学教育学部教授村松久和先生を講師に迎え、「エネルギー問題と放射線教育」の講義を行っていただきました。まず、放射能と放射線の基礎について学びました。歴史的過程から、原子の構造や核エネルギーについて解説していただき、放射線の人体へ及ぼす影響など、現代的な課題について知識を得ることができました。さらに授業実践例を紹介していただき、簡易霧箱で α 線の飛跡を観察しました。昨年度、放射線の授業をするときに、その内容について、随分悩むと共に、放射線に関する基礎知識が欠けていることを痛感したので、今年度の授業では、今回の講義をいかして、より良い授業をつくっていきたいと思います。

八月五日（火）は、日本モデルロケット協会会長である、山田誠先生を講師に迎え、「モデルロケット第4級従事者養成講習」の講義と実習を行っていただきました。モデルロケットとは、火薬エンジンを使用して、大空高く飛ぶ模型ロケットです。午前中の講義は、モデルロケット工学や火薬の安全な取り扱いについて学びました。また、講義の中で、本当に飛ばせる実機のペンシルロケットをさわる貴重な体験をさせていただき、持った瞬間の重量感や精密さに大変驚きました。午後になって、実際にモデルロケットを組み立てて、それを飛ばす実習が行われました。自分のつくったモデルロケットが飛び、落下中にパラシュートが開く瞬間は、とても興奮しました。また、参加された方々が、子どものように無邪気に喜んで、ロケットを飛ばす姿がとても印象的でした。

「上級コア・サイエンス・ティーチャー養成プログラム」と「モデルロケット第4級

従事者養成講習」で学んだことをいかして、これからも理科の面白さや奥深さを子どもたちに伝えていきたいと決意を新たにした夏期講習会でした。参加していただいた方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(会長 北澤佳一)